

令和 3年度予算見積調書

課室名：疾病対策課
 担当名：精神保健担当
 内線：3565

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B99	認知症医療支援体制整備事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	精神保健費	認知症医療対策費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令 認知症総合戦略推進事業実施要綱 認知症疾患医療センター運営事業実施要綱	宣言項目		02	健康・医療・介護の安心確保	SDGsゴール	3
			分野施策		010205	地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット	3-4
1 事業の概要 認知症の早期発見・早期診断・早期治療の徹底と、身近で充実した認知症医療の体制整備を推進し、高齢化の進行で増加する認知症へ対応する。 (1) 認知症検診事業 124千円 (2) 認知症疾患医療センター運営事業 29,400千円 (3) 地域連携会議 183千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 認知症検診事業 124千円 認知症の早期発見・早期診断・早期治療を促進するため、市町村が実施する70歳の県民を対象とした認知症検診事業に対し、埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金を交付する。 イ 認知症疾患医療センター運営事業 29,400千円 地域の認知症医療提供体制の拠点としての活動を行う認知症疾患医療センターの運営を委託する。 ウ 地域連携会議 183千円 認知症疾患医療センターと地域の医療機関や地域包括支援センターとの連携強化を図るための方策を検討する。 (2) 事業計画 ア 埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金を活用し、市町村が実施する認知症検診事業の財政的支援を行うことで、認知症検診事業の普及を図る（埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金：1,175人×2,000円=2,350千円） イ 認知症疾患医療センター運営事業 令和元年度:9センター 令和2年度:9センター 令和3年度:9センター ウ 地域連携会議 医療・福祉の連携強化を推進するための連携会議の開催。 (3) 事業効果 認知症を早期に発見し治療に結びつける体制を整備することで、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる環境の整備に寄与できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地域の医療機関、医師会等と連携 (5) その他（前年度からの変更点） なし					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10) (2) (国1/2・県1/2) (3) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	29,707	国庫支出金	14,700				15,007	0
前年額	29,707	国庫支出金	14,700				15,007	